

小さな命に 寄り添う医療

マンスリーサポーター募集 キャンペーン

期間:2021年5月~7月末まで

目標人数:100人

©Adri Berger



Treat every patient as if your own child

(すべての患者さんを我が子のように大切に)

フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーに関わるすべての活動・行動は、“Compassionate care”を信条として取り組まれています。“Compassionate care”とは「思いやりの心を持って対応する」という意味。

ラオ・フレンズ小児病院(LFHC)のスタッフは皆、来院したすべての患者さんに対して、我が子と思うのと同じような気持ちで接しています。子供たちにとっても、患者さん家族にとっても安心できる場所、差別なく適切な医療が受けられる場所でありたい。

私たちは、病院が身近な存在ではない地域でも、常に小さな命に寄り添い、医療活動を行っています。ラオスでは、肺炎や下痢、栄養失調等、予防や治療のできる病気で亡くなるケースが少なくありません。子供が20人いれば、そのうち1人は5歳の誕生日を迎えることができないのが現状です。

1人でも多くの子供たちの健康を守るため、マンスリーサポーターとして
活動を応援して下さい!

お申込み方法

■クレジットカード決済をご希望の場合はこちらから
https://congrant.com/credit/form?project_id=1658

■口座振替をご希望の場合は、
同封のパンフレットに付属する「マンスリーサポーター申込書」をご利用ください。

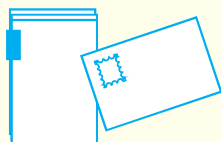


マンスリーサポーターになると

マンスリーサポーターの皆さまへ、以下のものをご用意しています。

内容

● 年次報告書/
ラオ・フレンズ小児病院
からのお手紙



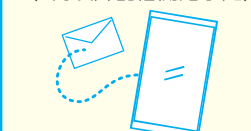
● スタッフからの
Thank you カード



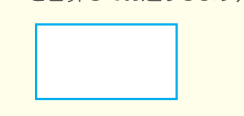
● お誕生日カード
(お誕生日月にメールで
お祝いのカードをお送
りします)



● マンスリー
サポーター限定
メールマガジン
(9月以降配信開始予定)



● 寄付金控除可能な
領収証
(年1回、1年間のご寄付
を合算してお送りします)



1日約17円、月500円の寄付が 子供たちを救う支援に繋がります！



500円

粉ミルク1週間分



サラセミアの症例

アナちゃんは、遺伝性の血液疾患であるサラセミアの患者さんです。

輸血を行うため、3～4週間ごとにLFHCのサラセミアクリニックに通院しています。輸血療法はサラセミアの一般的な治療法ですが、頻りに輸血を受けることで血液中の鉄分が高くなり、鉄過剰症を引き起こす可能性も。

そのため、アナちゃんには、デフェリプロンと呼ばれるお薬で副作用に対する治療も施しています。サラセミアは、ヘモグロビンを作ることができず、体内の正常な赤血球が少なくなる病気です。症状としては、蒼白、倦怠感、貧血、成長の遅れなどがあり、完全治癒することはありません。ラオスでは多く見られる病気で、LFHCでは専門クリニックを開設して対応しています。

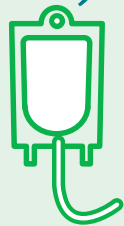


新生児の症例

出生時の体重わずか800グラムで搬送されてきたラーノイちゃん。LFHCでの新生児の患者さんの平均よりはるかに小さい赤ちゃんでした。担当した医師や看護師はラーノイちゃんが生き延びられるかとても心配していましたが、最後まで決して諦めませんでした。数週間にわたり、抗生物質や輸液、様々な薬の投与に加え、光線療法、輸血等を実施。ラーノイちゃんは少しずつ元気になっていきました。継続した治療の結果、体重も2キロを超え、晴れて迎えた退院の日。奇跡のような回復は家族やスタッフを笑顔にし、希望をも与えてくれたのでした。

1,000円

輸血が必要な
子供たちの
輸血パック
1回分



3,000円

ラオスの首都
ビエンチャンへの患者さんの
バス往復交通費1人分



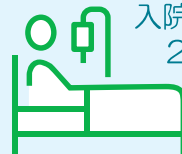
5,000円

手術に使用する
麻酔薬1回分



10,000円

1人の患者さんの
入院費
2日分



問い合わせ先

フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN 事務局

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-8 共同ビル7F

Tel/Fax: 03-6661-7558

Email: friends@fwab.jp